

全国のボランティア活動を表彰する「SYDボランティア奨励賞」の優秀賞に西九州大(神崎市)の学生サークル「ESRD」が選ばれた。児童福祉施設や高齢者施設を年間100回以上訪問し、スポーツやゲームの競技で交流を深めてきた活動実績が評価された。

ESRDには社会福祉などを学ぶ学生37人が所属。障害者や高齢者も簡単に遊ぶことができるスポーツを企

## 全国のボランティア優秀賞 西九州大のサークル受賞



授賞式に参加した西九州大「ESRD」元代表の青木博孝さん

画し、交流の輪を広げている。顧問の山田力也准教授(スポーツ社会学)は「交人一組でピンポン球を打ち返す運動を通じて参加者の体と磁石の付いたさおで紙に書いた魚を釣る「ポイント・ゲッ

ト・フィッシング」など50種目を越える。サークルの田原亜沙美さん(21)は「いつも全員が参加できる競技は何かを考えて、当日の種目を選んで

いる」と話す。東京で6日あった授賞式で、サークル元代表の3年青木博孝さん(21)は「自分たちの活動が認められたと実感した。より多くの人たちが楽しめるように部員と活動数を増やしたい」と話した。

(貞松保範)